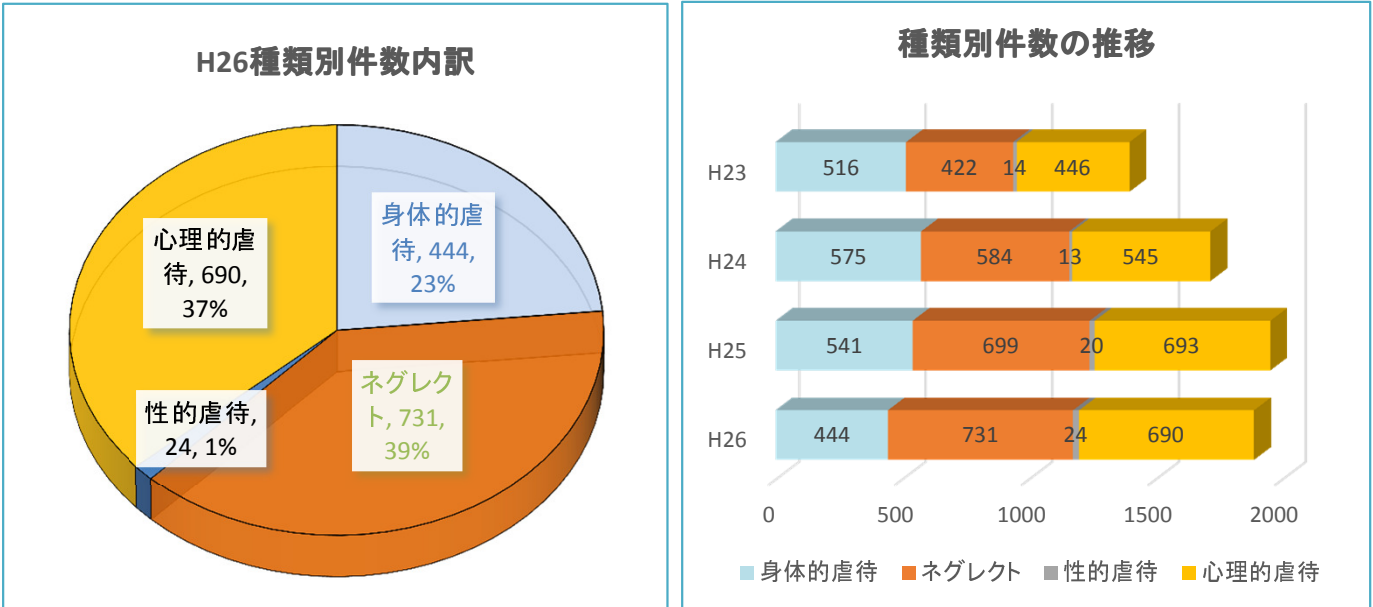
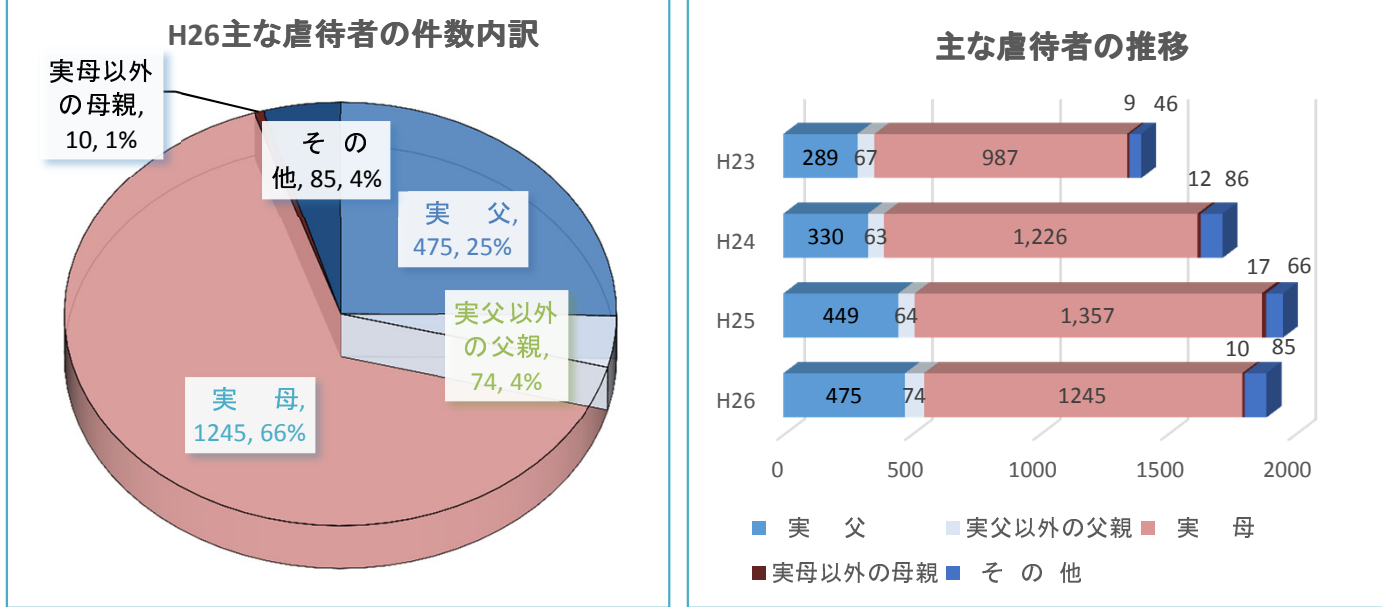


虐待の種類



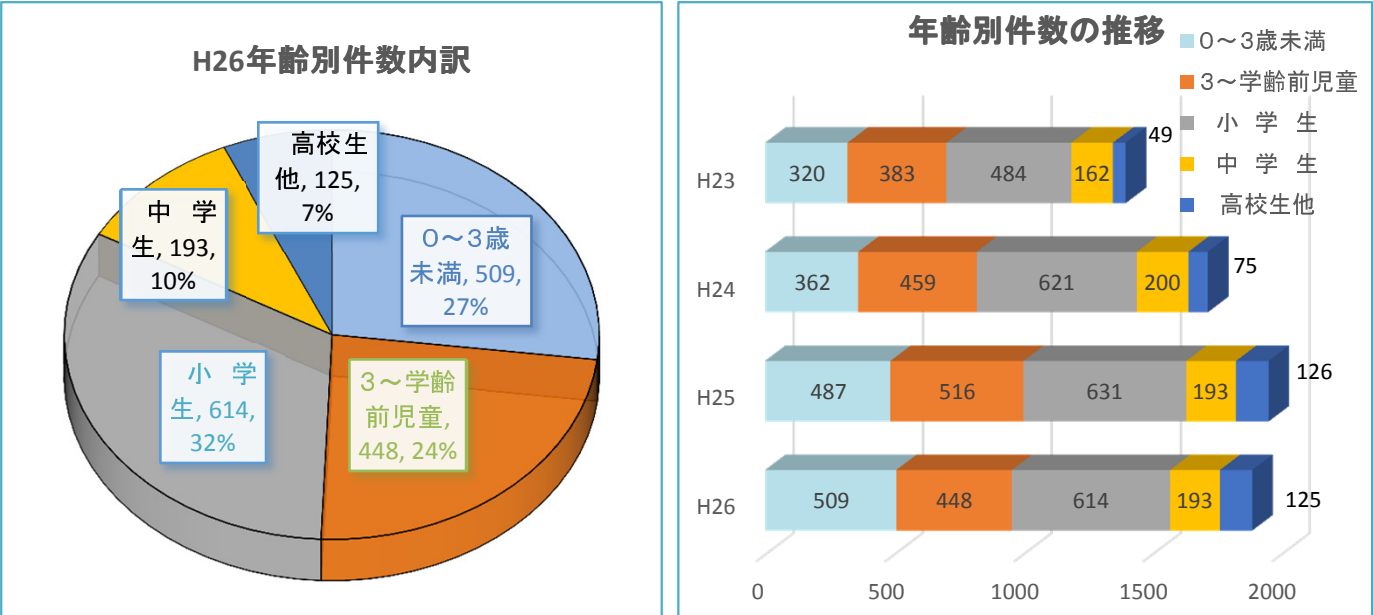
「ネグレクト」が最も多く、次いで「心理的虐待」「身体的虐待」の順に多い。前年度と比べると「ネグレクト」「性的虐待」「心理的虐待」の件数に大きな変動はないが、「身体的虐待」は97件減（17.9%減）である。

主な虐待者



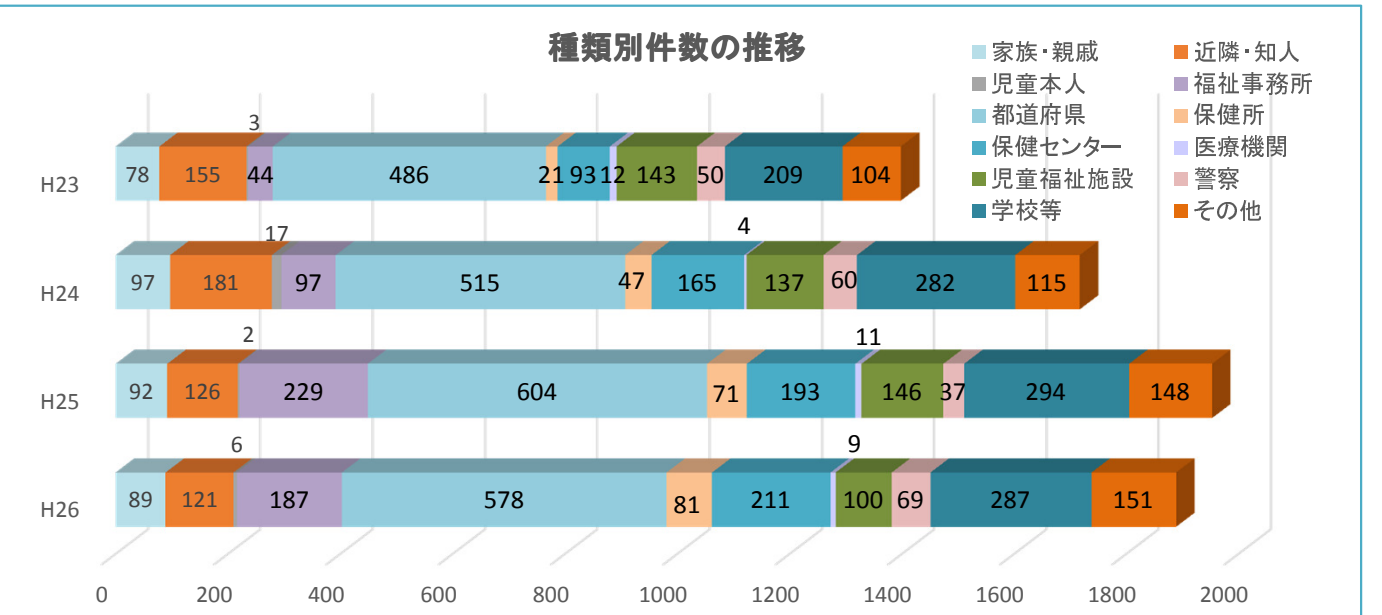
「実母」が全体の7割近くを占め、「実父」と合わせた「実親」の割合が、全体の9割を超えている。前年度と比べると「実母」及び「実母以外の母親」が減少した一方で、「実父」及び「実父以外の父親」が増加傾向にある。

被虐待児の年齢



全体の半数が就学前の児童である。前年度と比べると「0～3歳未満」がやや増加したものの、その他の年齢区分では減少もしくは横ばいである。

虐待通告の経路



「都道府県」からの通告が最も多く、次いで「学校等」「保健センター」の順である。前年度と比べると「警察等」が32件増（86.5%増）と目立っている。また、「保健所」「保健センター」からの通告件数が増加傾向にある。